

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム菜の花北丘珠館 2階

令和5年3月25日 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝理念の唱和を行い理念の共有を行っている。入居者様の「らしさ」を活かせる様カンファレンスで話し合い実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中で町内会総会や新年会の参加は出来ていない。職員は町内清掃等で地域住民との関わりができてはいるが機会は少ない。	・コロナ禍では感染リスクの高い利用者は地域とつながりを持つのは今は難しいと思う。 ・コロナ禍の中でいくら注意しても無理があり地域の方達と関わりが出来ないのは仕方ないのではないか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はリモート会議にて時間短縮で開催している。ご家族や地域の方々にもリモート会議への参加を呼びかけているが地域包括の担当者からの参加に留まっている。ご家族や地域住民には書面、電話で意見を伺っている。	・出来る限りの事はしているので良いと事と思う。 ・リモート会議等に不慣れで参加は出来ないが、書面などで会議の中身を知らせてくれるので十分だと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの感染対策において、札幌市や東区の介護保険課と密に連絡を取り、ワクチン接種や必要な備品等についてアドバイスをいただいている。	・職員の皆さまの取り組みを書面で説明があり安心している。 ・十分に出来ていると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会で研修や検討を行い、その内容をユニットで内部研修として実施し職員全員が周知し理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・3か月に1回のペースで身体拘束適正化委員会を実施し、その内容をカンファレンス内で職員へ周知し徹底出来ている。 ・今後は身体拘束が起こる要因等も検討していくことが望ましい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委委員会で研修を行い、その内容を内部研修として実施し職員全員が周知し理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・3か月に1回のペースで虐待防止委員会を実施している。委員会の内容をカンファレンス内で職員へ周知し徹底出来ている。 ・身体拘束同様に高齢者虐待が起きる要因を過去の事例から検討することが良いと思う。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	カンファレンス内で内部研修で学ぶ機会を設けている。現在成年後見制度を利用している入居者様はいない状況である。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は本社職員と管理者が同席し不安な事や疑問点に応え信頼関係の構築に努めている。料金改定があった際は文書や口頭での説明を都度行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍において面会制限があり直接会って意見を聞くことは少ないが電話で意見聴取を行い、運営に反映できる様努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナ過で面会制限があり直接意見交換する機会は少ないが、電話やリモート面会時に意見交換をする事が出来ている。今後も面会制限の可能性もあることから、お手紙などと一緒にアンケートを郵送するといい。対応策の検討を重ねていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月に1回管理者会議の開催がある。会議にて意見や提案を聞く機会がある。ユニット内ではカンファレンスや面談を通じて職員の意見や提案を聞く時間を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業務改善をしながら残業や業務負担の減少に努めている。やりがいを持つ様に職員の得意な事を役割として任せ向上心を持って働ける様に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・業務改善による残業の減少を行い、働きやすさを感じられる様に努めている。職員一人ひとりの得意な事を役割として任せモチベーション向上に努めている。また、スタッフの身体面の負担軽減のため ICT の活用が良いと思われる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修を月に1回実施し学ぶ機会を設けているが、外部研修への参加は出来ていない。今後、外部の研修参加を促しスキルアップを図れる様取り組んでいく。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・毎月内部研修の実施を行っている。 外部の参加はできていないが今後はオンライン研修等の参加を職員に促していく。 ・参考書や動画投稿型 SNS の利用等も取り入れると良いと思われる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、他事業所や他館との交流は行えておらず、東区管理者連絡会での情報共有なども出来ていない。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が入居者様に編み物や昔の歌等を教えてもらう機会を設けている。日々の関わりの中で関係性を構築できる様努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の状況の為、面会制限していたが、リモート面会や電話での支援、書面を通じての伝達を行い、関係性の維持に努めている。	・2か月に1度程度だがガラス越しの面会出来ており、本人の様子を観れて安心している。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画更新時における意向確認、日常生活での聞き取り、気づきシートを活用した情報共有を行う等する事で、ご本人の思いや望む生活が支援出来るように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モニタリングを活用し新たな課題の抽出、ケアのあり方をカンファレンスで話し合っている。また介護計画更新時にご家族と意向の確認を行い介護計画に反映している。	・必ず連絡を頂いているのでケアについては安心している。 ・本人の意向をくんでくれてありがたいと思っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・モニタリングは計画作成担当者と毎月打ち合わせの時間を設けている。意見交換やニーズの把握、新たな課題の抽出も出来る。可能であれば、モニタリングの際に多職種(看護師、薬剤師)もチームの一員に入ると良いと思われる
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録、介護計画第2表、気づきシートを同一ファイルにし情報共有ができる様になっている。気づきに対してその場で話し合いを行い都度ケアの見直しを図れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・気づきをすぐ記載できる様介護記録に気づきシートを挟み記載する様にしている。介護計画の原案作成時には担当職員と打ち合わせを行い支援方法の共有を図り新たな介護計画の立案につなげている。 気づきシートの取組みがとても良いと思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同施設内の小規模多機能レクに時折参加し、ユニット外での関わりができる様取り組んでいる。また専門医との連携を図り必要時早急な受診対応ができる様努めている。	・専門医との連携があり安心している。 ・入れ歯の件では本人の年齢や食事の摂り方など歯科医と相談や確認をして頂き適時に対応してくれていたと思う。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出はほぼ出来ていない状況であるが、日光浴や散歩等で戸外へ出向き気分転換が図れるよう支援している。	・年齢的に動くのは難しいと思うので本人の気分の良い時に日光浴できればいいと思う。 ・日光浴や散歩等でもかなりストレス緩和になっていると思う。		



21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に提携医療機関を提示し選択できる様、希望や意向を大切にしている。月2回の訪問診療や緊急時、体調不良時に適切な医療を受けられる様にかかりつけ医との関係を築いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は介護添書を作成し情報提供を行っている。コロナ禍で面会は難しい状況であるが、ご家族や病院関係者との連携を密に図り早期退院ができる様努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院した際は病院と連携を図り情報の共有を行っている。身体状況や精神面、生活状況の把握に努め、退院後安心して生活できるように密に連絡や調整を行っている。</li> <li>・病院関係者との関係は、難しい時もありますが、良好な関係が築けるように医療関係者が欲しい情報など聞いておくのも良いと思う。</li> </ul>
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時と年に1度ご家族に意向確認し同意を得ている。ご本人には状態良好時から最期の意向や希望等の聞き取りを行っている。聞き取りした内容はカンファレンスで共有しチームとして支援に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1度の意向確認とご本人の状態変化により主治医や訪問看護師と連携を図り必要時には都度、ご家族や主治医を交えて終末期の支援方法についての話し合いを行っている。</li> <li>・終末期は他職種との連携が不可欠なので、日頃から情報交換などしていると良いと思う。</li> </ul>
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	救急救命講習を職員全員が受講している。内部研修を通じて緊急時対応についての復習を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年3回の避難訓練の実施を行う予定。今年度は11月、1月、3月の実施を予定している。避難訓練時の地域との協力体制はできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で集まるのが大変な中訓練をしている事感謝している。</li> <li>・地域との協力体制はコロナ禍で仕方ないと思う。</li> </ul>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は実施しているが、ご家族に情報の提供は出来ていなかった。避難訓練実施後は2か月に1回発行の広報紙に記載し情報の提供を行っていく。また、災害時の協力体制を確認することが望ましい。</li> </ul>

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修を通じ学ぶ機会を設けている。言葉かけや関わり方は各職員意識し対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・内部研修を通して尊厳の保持や言葉かけについて意識した関わりが出来ている。 トイレ誘導時や入浴、更衣時にはプライバシーに配慮した声かけについて話し合いを行い実践につなげている。その他にも居室に入る際など、生活のあらゆる場面で配慮が必要なことを意識することが望ましい
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時間や食事時間等、ご本人の生活リズムに合わせ可能な限り支援している。アクティビティは個々に合わせた個別支援も取り入れ支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の盛り付け、食事のワゴン運び、複数人で食器拭き、メニューの読み上げ等をし、無理のない範囲で職員と共に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事の盛り付けや食器拭き、ワゴン運び等入居者様のできる事を職員と共に行う事が出来ている。食器も一人ひとりの身体状況に合わせて変更している。 ・同時に、食事する環境の工夫も皆で行うと良いと思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量は毎日記録している。水分量が確保できる様、好きな飲み物を提供し水分量の確保に努めている。半年に1回口腔栄養スクリーニングを実施し栄養状態の把握と共有を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、歯磨きの声かけ見守り、口腔ケアの実施を行っている。訪問歯科と連携を図り、口腔ケアの方法や口腔内の観察ポイントを指導してもらいながら清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・訪問歯科より口腔ケアの指導をしていただきながら口腔内の清潔保持が出来ている。 ・口腔ケアは認知機能にも影響があるので、日頃から嚙み合わせや咀嚼状態を確認しておくと思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し個々に合わせ声かけやトイレへの誘導を行っている。主治医や訪問看護師と連携を取りながら便秘の解消に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄表やご本人のしぐさや表情を確認しながら小さな変化を読み取り排泄の失敗を減らす事ができる様努めている。排便状況を確認しながら下剤の調整を細目に行い便秘の解消がほぼ出来ている。また、排泄の失敗を中核症状や現疾患から要因を考え、支援していく取り組みを検討していく。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回を基本とし曜日は固定せず入浴できる様支援している。ご本人の体調に合わせてシャワー浴や清拭対応し清潔保持に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝時間は個々に合わせ声かけを行い、就寝介助を行っている。日中も疲労感がある時や眠気が強い時は休息できる様横になる時間を設けている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報を一つのファイルにし職員がいつでも内容を確認できる様にしている。頓服や薬内容の変更があった場合は申し送りや日誌記載で情報共有している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に服薬マニュアルの確認、薬変更時の申し送りの徹底を行い、服薬に関する共有は出来ている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの趣味(編み物、計算問題、花のみずやり等)を日課として提供している。食器拭きやテーブル拭き等の役割を持ちやりがいがある様に努めている。	・自分が必要とされている事に安心感がありそう思わせてくれる職員の方たちに感謝している。 ・花の水やりをしている様なので良かったと思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中において外出の制限がかかり多くは出来ていないが、天候の良い日は玄関先で日光浴や近場を散歩する等、外へ出る機会が作れる様に努めている。	・早く暖かい春が来てコロナも終息して外出も自由に出来る日々が一日でも早く来る日を願っている。 ・室内でも一日穏やかに過ごせたら充分だと思える。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中においてお店へ行って買い物する等の支援は出来ていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人がご家族の声を聴きたい時や連絡を取りたい時には事前にご家族の了承を得てから対応できるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間の壁には季節を感じる事ができる装飾作品を入居者様と共に作成し掲示している。廊下には行事や日々の写真を掲示している。自身で居		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感を感じる事が出来る様な壁装飾を入居者様と一緒に作成し展示する事が出来ている。また居室やトイレ、浴室等に見える形で看板を設置し迷うことなく過ごす事が出来



		や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		室やトイレまで行ける様に順路や看板を掲示する等の工夫をしている。			ている。また、見当識障害を理解した環境作りが望ましい
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活軸を大切に、就寝時間や起床時間の幅を持って対応している。ご本人のやりたい事への思いを吸い上げ、花の水やり、館内散歩、読書時間の提供等個別支援につなげている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に生活歴の把握を行い、入居後もご本人との会話の中から昔どのような生活をしていたのか、学生時代の習慣、働いていた時の様子等の情報収集に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療、週1回の訪問看護師による健康管理等の支援により対応している。訪問看護師と入居者様の状態についての打ち合わせを密に行い、便秘への対応や処置方法の指導等をお願いしている。居室空間も入居者様にあった家具配置に努め、身体機能に合わせ都度家具配置の変更を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・訪問診療や週1回の訪問看護師による健康チェックで情報の共有をしながら必要時に迅速に対応が出来る様努めている。居室空間については入居者様の精神面や身体状況に合わせ都度、アセスメントを行い配置の変更を行っている。配置変更後も再評価を行い居室で安全に生活出来る様努めている。 ・認知症の方にとって、環境というのは重要な要素なので、再評価などとても良いと思う。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔からの習慣を大切に、花の水やり、カーテンの開閉、午後の休息時間の提供、起床時間、就寝時間等、入居者様に合わせた生活ができる様に努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には昔から使用していたなじみの家具や写真を配置している。居室内や共用部分で一緒に写真を見て思い出話ができる様支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご本人が会話の中で思い出した大切な物があれば都度連絡し、身近に持つ事が出来る様にご家族と連携を図っていく。 ・アルツハイマー型認知症は特にエピソード記憶に障害が出やすいので、ご本人の状態

							に合わせて馴染みのものを配置することも重要だと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において外出はほぼ出来ない状況にあった。館内の夏祭り開催や入居者様が希望していた流しそうめんの実施、丸亀製麺出前レク等を行い、希望に沿った行事の開催に努めた。	・流しそうめん等家ではできない事や頂いて笑顔の写真もお便りで見れて良かった。 ・コロナ禍でこれだけレクをしてくれてありがたいと感じている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おかずの盛り付け、テーブル拭き、食器やお盆拭き等の家事仕事や食事内容の読み上げ、装飾づくり等の得意な事を役割として行う事ができる様支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用部分では自由に会話をする事ができる様対応している。また廊下の装飾や写真を見ながら職員と思い出に浸ったり、レク活動の機会を多く設け笑顔で過ごす事ができる様に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者様一人ひとりのできる事やしたい事の把握を行い、日々の活動に活かす事が出来ている。また、本人が誰かの役に立っているような支援を考えていくのも良いかと思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において地域との関わりが出来ていない状況にある。近隣の保育園や高校との連携を図りたいが現在は交流ができていない。	・いつか安心してできればいいなと願っている。 ・仕方がないと思う。時が来れば良い方向に向かう事を願っている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流や外出の機会の減少等があるが、館内でできる事を増やし日々の生活がより楽しみとなる事を目指し支援できるよう努めている。	・館内で出来る事を日々考え行動してくれている事に感謝している。 ・本人おも十分に楽しい経験をしていると思う。家族も安心しておまかせしているので感謝している。 ・心身共に苦痛なく穏やかに過ごす事が出来ますようお願いするばかりです。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ過でご家族や地域との関わりがほぼ出来ない中、館内でできる行事等で季節感を感じたり楽しみを提供する事はできていた。制限がある中ではあるがご家族や地域との関わりを増やし、よりよい日々をおくる事ができる様努めていく。 ・制限も少しずつ解除されていくと思うので、その中でご本人やご家族が希望されていることが支援できるようにしていく必要があると思う。